

紫藤新聞



宮城県白石工業高校 報道委員会

〒989-0203 白石市郡山字鹿野43

TEL0224-25-3240 FAX0224-25-1476

地道な努力が実を結ぶ 難関の電験三種に合格

電気科3年の高橋康孝君が、難関の第三種電気主任技術者試験（電験三種）に合格しました。発電所、変電所等の電力会社の施設やビル、工場等の大規模な施設では、電気設備の保安の監督をするために、「電気主任技術者」を置かなければなりません。電験三種は、5万ボルト未満の施設（出力5kW以上の発

電所を除く）の電気主任技術者になることが出来る、大変重みのある資格です。それだけに試験も難しく、今年度の全受験者（社会人を含む）を通しての合格率はわずか7%でした。現役の高校生が合格するのは極めてまれなこの試験に合格した高橋君に話を聞きました。



電験三種の免状と、電気学会の学術奨励賞を手に

高橋 康孝 君（電気科3年）

電気の面白さは、物理の領域ということもあり、数学の知識があれば、深く知り、学ぶことができる場所だと思います。

◆ 合格したご感想を

◇ 素直に嬉しく、今までの勉強の成果が出たのだと感じました。

◆ 初めて試験問題を見た時、どう思いましたか？

◇ 最初は問題をじっくり読んででも何も理解できませんでした。そこで教科書で基礎から勉強し、土台が出来てから問題演習をするようにしました。

今では問題を読めば、解くのに必要な要素が頭に浮かぶようになりました。

◆ 何時間くらい勉強していましたか？

◇ 月によって異なりますが、試験前の平日は学校での補習を含めて3~4時間、休日は5~6時間ほどでした。

◆ 難しいところもあったと思いますが、どのように乗り越えてきましたか？

◇ 「電気」は好きな分野ということもあり、難しいところが出てきても「どうすれば解けるのだろう」と、逆にやる気が出ました。難問に挑戦し正解した時、何とも言えない達成感と満足感が得られます。それが味わいたくて、更に挑戦してきました。

◆ 合格できた要因は何だと思いますか？

◇ 2年と3年の時、それぞれ半年間、少しずつコツコツ勉強できたことが大きいと思います。

それと、放課後や休日の時間も、講習のために時間を割いていただいた先生方のお陰です。とても感謝しています。

◆ 今回の受験で得たものは？

◇ 電気の知識も得ましたが、勉強を続ける継続力と忍耐力が身についたと思います。

◆ 将来の進路について

◇ 情報系の学科がある大学へ進学する予定です。情報、電気両方の分野で活躍できる技術者になりたいです。

◆ おめでとうございました。

(文責：報道委員会)

電気学会から 学術奨励賞を受賞

高橋君には1月25日、電気学会から、学術奨励賞が授与されました。電気学会では、今後の電気技術を担う若者を育成する観点から、電気主任技術者試験に合格した工業高校生などを対象に、その努力成果を顕彰する目的で、学術奨励賞を制定しています。